

クラス番号	902	担当教員名	渡邊 忍
テーマ	子どもの社会・心理的な危機と支援方法について学ぶ		
ゼミナール概要			
<目的、内容、方法等> 私は 30 年間近く児童相談所で児童福祉司（ソーシャルワーカー）と心理判定員（児童心理司）として実践してきました。その中で感じていたことは、子どもや家族には発達段階やライフサイクルに応じた社会・心理的な危機があり、そこを意識した支援が求められているということです。子どもが育つ過程には、子どもの貧困、児童虐待、発達障がい、いじめ、不登校、引きこもり、暴力や非行など、多くの危機（課題）があります。 将来、子ども分野や家庭支援分野に進みたいと思っている学生には、社会・心理といった二つの視点から、こういった危機（課題）に対して、面接、アセスメント、プランニング、モニタリング、事後評価と終結、さらには他職種、他機関との連携ができる援助者（ソーシャルワーカー等）を目指してほしいと思っています（目的）。 このゼミでは、上記の目的に少しでも近づくため、参考文献や資料等とおした基礎的研究、さまざまな支援機関等の見学をおとしたフィールド調査、そして学生自身の関心がある課題研究といった 3 つの段階を踏みながら進めていきたいと思っています（内容、方法等）。 そのうえで、3 年生から始まる「ソーシャルワーク実習」や「専門演習」に発展していくことを期待しています。 <授業計画> 前期は、子どもや家族に関する社会学的な視点と心理学的な視点の文献研究を進めていきます。グループ学習を基盤に、グループ討論などに発展させていきます。 夏休みには、可能であればフィールド調査を兼ねた「合宿」も考えています。 後期は、さまざまな子どもや家族に関する支援機関（児童相談所、家庭裁判所、少年鑑別所、不登校のための相談機関、フリースクールなど）の見学を予定しています。そして、学生たちの関心がある課題別グループ研究（具体的な支援も含めた）に発展させ、研究の成果をプレゼンテーションし、まとめのレポートを作成します。			
担当教員からのメッセージ			
私は臨床心理士と社会福祉士の二つの資格を持っています。それは長年現場で実践・研究しながら、たどり着いた結果でした。現場にいるころは資格を意識したことはありませんでしたが、教員として学生のソーシャルワーク実習指導や演習指導を行うことに役立っています。また、教員をしながらソーシャルワーク的な小中学校支援と中学校のスクールカウンセラーといった二つのフィールドで実践を続けています。 このゼミで学んだことが、将来、子どもや家族（家庭）に関わる児童家庭福祉分野で実践したいと思っている学生たちにとって役立つことを願っています。			